

韓国江原地方労働委員会の皆さんが来局しました

平成28年3月10日（木）、韓国江原地方労働委員会の^{キムミンソク}金珉奭 委員長ほか4名の皆さんが、鳥取労働局に来局しました。



金委員長（中央）を始めとする江原地方労働委員会の皆さん

これは、前日（3月9日（水））に開催された鳥取県労働委員会創設70周年記念「日韓労働委員会シンポジウム」に参加するため、鳥取県と交流の深い^{カンウォンド}江原道を管轄する江原地方労働委員会の皆さんが来日されたことに伴い、労働局にも訪問いただいたものです。

当日は、^{かわのすみとも}河野純伴 労働局長が鳥取労働局の組織や行政運営について説明した後、労働局幹部と江原地方労働委員会の皆さんとの間で、活発な意見交換が行われました。



歓迎の挨拶を行う河野局長（左から4人目）

韓国の地方労働委員会は国の行政機関であり、個別労働関係紛争の解決に当たっては、日本の労働局と同様の役割を果たしています。また、委員会に置かれる調査官は、日本の労働基準監督官に当たる「勤労監督官」を経験した者が務めることとなっているとのことです。

やりとりの中では、労働紛争の調整機関としてだけでなく、広く労働者保護に取り組む観点から、日本の労働局の問題意識と共通する部分も多く感じられ、短い時間ながらも、たいへん有意義な意見交換の場となりました。

鳥取労働局としては、今後もこのような機会を活用し、国外の機関等とも交流に努めていきます。